

046

未就学児向け防災教材の指導者研修会

取組主体

日本赤十字社茨城県支部

従業員数

19 人

想定災害

地震等

実施地域

茨城県

- ・ 茨城県内の幼稚園や保育所等の指導者を対象に、未就学児向け防災教材の研修会を開催。
- ・ 同教材を県内すべての幼稚園や保育所等に無償配布した。

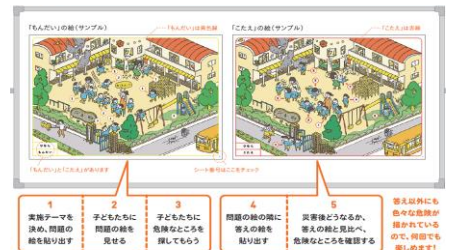
1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

子どもたちが自分の命を守るために自分で判断し、行動できるように

- ・ 令和元年 8 月、日本赤十字社茨城県支部は、県内の幼稚園や保育所等の指導者を対象に、幼稚園・保育所の子どもたち向け防災教材の活用方法の研修会を開催した。研修会には、県内の幼稚園や保育所等の指導者約 100 人が参加した。
- ・ 同教材は、日本赤十字社と特定非営利活動法人プラス・アーツが共同で作成したもので、A1 サイズのシート 17 枚で構成され、地震や避難、風水害等 6 つのテーマの「まちがいさがし」イラストが描かれている。取り扱うテーマは様々なため、住まいの地域に合わせて子どもたちが自ら考え、楽しく学ぶことができるようになっている。例えば風水害をテーマにしたシートは、土地の低い方向へ移動してしまったり、増水した川で釣りをしたりする場面を題材に、災害時の行動について考える内容となっている。
- ・ 同研修会は、同教材の指導方法を伝えることで、幼稚園や保育所等それぞれの施設の中で防災教育推進の核となる指導者を養成し、防災教育の普及を図ることを目的としている。内容は、幼稚園長による実践発表、日赤職員による講義及びグループワークによって構成されている。
- ・ 防災・減災に関するセミナーはこれまで主に大人を対象に行われてきたが、災害は子どもたちが大人と一緒にいる時に起きるとは限らないことから、この教材を通じて子どもたちが自ら考え、楽しく学び、自分の身を守るための基礎的な知識と判断力を身に付けることを目指している。



教材を見ながらディスカッションする参加者



地震、津波、風水害等を題材にした教材（写真は「避難」がテーマ）

2 取組の平時における利活用の状況や効果

- ・ 同支部では同教材を購入し、防災教育の一環として、県内すべての幼稚園や保育所等約 860 施設に無償で配布した。これにより、幼稚園教諭・保育士等が本教材を取り出し、いつでも活用できるようにしている。

3 現状の課題・今後の展開等

- ・ 今後は、県内すべての幼稚園や保育所等に対し同教材の活用状況等を調査するとともに、協力の要請があった幼稚園や保育所等に対し、同支部から講師を派遣するなどフォローを行うことを予定している。同支部は、今後も活用方法の研修会を定期的に行い、活用率を高め、子どもたちの命を守っていきたいと考えている。

担当者の声

- ・ 今までの子どもたちは、先生から守られる存在でしたが、必ずしもいつも保護者や大人が近くにいるとは限りません。この教材を通して自ら判断し、自分の命は自分で守ることができるように、一緒に学んでいきたいです。

問合せ先

日本赤十字社茨城県支部 TEL : 029-241-4516 FAX : 029-241-4714 E-Mail : info@ibaraki.jrc.or.jp